

お取引様各位

2014年11月吉日
株式会社アサカワホーム
代表取締役 細瀬弘之

ユニットパネル工法の発表・上棟見学会のお知らせ

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、弊社ではこの度、新工法「ユニットパネル工法」を発表いたします。

「ユニットパネル工法」は、木造軸組在来工法でありながら枠組工法を取り入れ、サッシや断熱材を組み込んだ3,640mm幅の大型パネルを工場生産する工法で、サッシ取付け・断熱施工・壁下地また、ユニット配線まで短期間で完了することが出来、大幅な工期短縮と防水などの品質の保持を可能なものにします。

今回「ユニットパネル工法」の上棟を皆様には是非ご紹介したく大宮支店にて下記のとおり上棟見学会を開催させていただくことになりました。

通常ご覧いただけないものですので、この機会には是非ご覧いただきたく存じます。

ご多用のところ誠に恐縮ではございますがご来場いただける様、お願い申し上げます。

敬具

記

【ユニットパネル上棟見学会】

- 日時：2014年12月5日（金）8：00～16：00（ユニットパネルの設置は午前8時～開始）
- 場所：アサカワホーム大宮支店（TEL 048-669-6211 / FAX 048-669-6212）
※ユニットパネルの設置は大宮支店敷地内「大宮支店展示場」
- 所在：埼玉県さいたま市北区吉野町1-395-12
- 交通：埼玉新都市交通（ニューシャトル）「吉野原」「今羽」駅より徒歩14分

【ユニットパネル工法の特徴】

- 在来工法とツーバイフォー工法の長所を併せ持つ強い住宅。
- 構造金物・断熱材・サッシ・外壁シート防水などの大切な工程を工場で行うので高精度で高い品質で施工できる。
- ユニットの組み立ては1日で終わりますので、大事な構造を雨などに濡らすことがない。

【ユニットパネル工法の概要】

ユニットパネル工法は、木造住宅の建築において在来軸組工法の梁・柱と、枠組工法のパネルを融合させた壁ユニットを組み立て、構造躯体とすることにより構造強度、生産性、施工精度を高い次元で完結させる工法です。金物・断熱材・サッシ・透湿防水シート等を施工した壁ユニットを工場で製造し、現場で組み立てます。土台・床断熱材・床合板の施工に一日、上棟時に外部合板・壁断熱材・サッシ・外壁用胴縁・間仕切壁下地まで完成します。

【工期短縮が可能】

30坪の住宅なら、現状90日の工期から60日程の工期へ大幅に短縮が可能です。上棟後の工程にも工期短縮を可能とするプレカット鋼製野縁、プレカット階段などを取り入れております。大工事は軒廻りと内部の石膏ボードを貼り、階段、フロア、造作工事などが主体となり、職人不足にも対応できます。

※断熱材 アキレスキューワンボード(アキレス)

経時断熱性能に優れた高性能硬質ウレタンフォームで、優れた長期断熱性能を実現します。(熱伝導率0.021 W/(m・K))

発泡樹脂系断熱材の断熱性能は製造直後から経時に伴い低下し、概ね一定値に収束します。キューワンボードはセルの微細化による初期値向上のほか、経年変化を抑えることにより長期性能の向上も可能にしました。

※透湿防水シート タイベック(デュボン)

0.5~10ミクロンのポリエチレンの極細長繊維をランダムに積層し、熱と圧力だけで結合させたシート(不織布)です。米国 デュボン社が開発したこの独自の構造により、優れた透湿・防水性能を有し、抜群の強度と耐久性能を保持することが可能になりました。



断熱材の張り込み



タイベックの張り込み



サッシの防水テープ施工



組み立てはクレーンで行い金物で接合します

